

○見直し後の公表の概要

資料 4

項目	サイクル/公表日	算定対象期間	公表地域			
			首都圏	中京圏	近畿圏	九州
(速報)		※ () 内は算定対象の取引日				
豚カット肉「1」	日報/ (月～金曜)	公表日前日までの1週間が取引日のデータを対象に、日々移動させて公表値を算定 (月、火、水、木、金、土、日) 月公表 (火、水、木、金、土、日、月) 火公表 (水、木、金、土、日、月、火) 水公表 (木、金、土、日、月、火、水) 木公表 (金、土、日、月、火、水、木) 金公表	○		○	
	【参考】 取引日毎価格/ (月～金曜)	取引日の1週間後に当該取引日の価格を算定 例: (前週の水) 水公表	○		○	
豚カット肉「1」	週報/ (火曜)	前週 (日曜～土曜) が取引日のデータを対象に、公表値を算定 (日、月、火、水、木、金、土) 火公表	○	○	○	○
和牛チルド「3」	週報/ (火曜)	前週 (日曜～土曜) が取引日のデータを対象に、公表値を算定 (日、月、火、水、木、金、土) 火公表	○	○	○	○
乳牛チルド「2」	週報/ (水曜)	前週 (日曜～土曜) が取引日のデータを対象に、公表値を算定 (日、月、火、水、木、金、土) 水公表	○		○	○
交雑牛チルド「3」	週報/ (水曜)	前週 (日曜～土曜) が取引日のデータを対象に、公表値を算定 (日、月、火、水、木、金、土) 水公表	○		○	○
輸入牛肉	半月報 (上旬/下旬) / 3日後に公表	上旬 (1～15日) が取引日のデータ及び下旬 (16～月末日) が取引日のデータを対象に、それぞれ公表値を算定	○	○	○	○
輸入豚肉	半月報 (上旬/下旬) / 3日後に公表	上旬 (1～15日) が取引日のデータ及び下旬 (16～月末日) が取引日のデータを対象に、それぞれ公表値を算定	○	○	○	○

項目	サイクル/公表日	算定対象期間	公表地域			
			首都圏	中京圏	近畿圏	九州
(確報)						
月報	原則翌月11日公表	取引日が1日～月末日のデータを対象に、公表値を算定 (日報【参考】の取引日毎価格についても確報値を算定)	○	○	○	○
年報	翌年1月中公表	月報を1～12月で集計し、公表値を算定	○	○	○	○

注1：見直し後の日報の算定

データ整理の基準日を変更するため、現行のような日々の価格としての日報の公表は困難なことから、日々の変化の趨勢が把握できるような日報として公表を継続。公表日前日までの1週間の取引日データを対象に、日々移動させて公表値を算定

注2：見直し後の週報の算定

前週（日曜日～土曜日）の取引日データを対象に公表値を算定

注3：速報と確報の位置づけ

見直し後は、日報、週報及び半月報は速報値（概算値）

月報、年報は確報値

注4：取引日毎価格の提供

データ整理の基準日を取引日ベースに見直すことから、豚カット肉「I」（首都圏及び近畿圏）については、日報の参考情報として取引日の1週間後に当該取引日の価格を速報として公表

月報公表時に、速報公表時より遅れて収集された取引日データを含めて、取引日毎の価格データの再計算を行い、確報として公表